

産業別四半期見通し調査結果 (2022年1～3月期見通し)

■長野県産業天気図

◇2021年10～12月期の現況

- 全12業種中、「晴れ(好調)」が2業種、「薄日(順調)」が2業種、「曇り(普通)」が2業種、「小雨(低調)」が6業種となった。

◇2022年1～3月期の見通し

- 見通しは、「晴れ(好調)」が2業種、「薄日(順調)」が2業種、「曇り(普通)」が3業種、「小雨(低調)」が4業種、「雨(不調)」が1業種となった。方向感では、「やや上昇」が2業種、「横ばい」が9業種、「やや下降」が1業種となっている。

天気図記号	2021年 7～9月期現況	2021年 10～12月期現況	2022年 1～3月期見通し
 晴れ(好調)	2 業種	2 業種	2 業種
 薄日(順調)	2 業種	2 業種	2 業種
 曇り(普通)	1 業種	2 業種	3 業種
 小雨(低調)	5 業種	6 業種	4 業種
 雨(不調)	2 業種	0 業種	1 業種



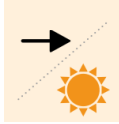


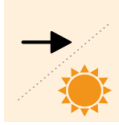

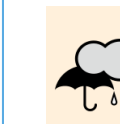
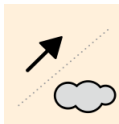

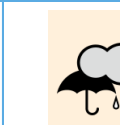
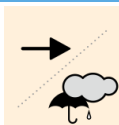

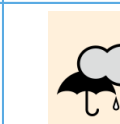
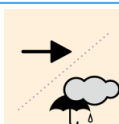

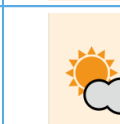
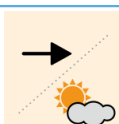

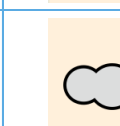
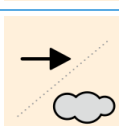



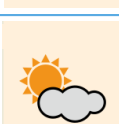
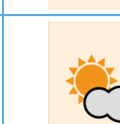


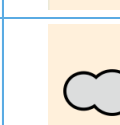
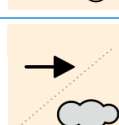

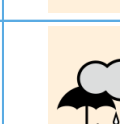
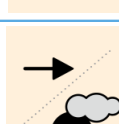

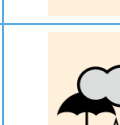
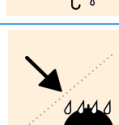
■1～3月期見通しのポイント


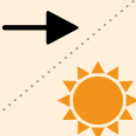
- 製造業では、自動車部品が「小雨(低調)」から「曇り(普通)」になる見通し。非製造業では、観光が「小雨(低調)」から「雨(不調)」になる見通し。


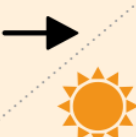



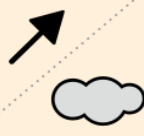
<産業別天気図一覧(12業種)>


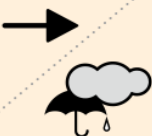
- 調査内容: 業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間: 2021年12月中旬～22年1月中旬
- 調査回答企業: 県内主要企業12業種の112社



業種	前期 (21年7～9月期)	今期 (21年10～12月期)	来期 (22年1～3月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			



生産用機械	IT・自動車関連を中心に受注は高水準を維持
<p>● 現況</p> 	<p>工作機械や半導体製造装置などの生産用機械の受注は、国内向けは自動車関連で底堅く推移し、海外向けは半導体を中心としたIT関連や自動車関連で好調だった。今後も全体の受注は高水準を維持する見通し。ただ、生産用機械に用いられるリニアガイドなどの基幹部品や半導体、コネクタ等の部品不足から、機械の納期は長期化が続く見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 工作機械の受注は、国内では、自動車関連で堅調な見通し。海外は、北米、欧州、東アジア向けでIT関連や電気自動車(EV)を中心とした自動車関連が好調な見込み。 • 半導体製造装置の受注は、データセンター向け、スマートフォン・PC向け、車載向けなど多くの用途で高水準の半導体需要が見込まれることから、好調な見通し。



電子部品・デバイス	車載向けをはじめ幅広い分野で部品受注は好調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>部品受注は、スマートフォン向けが5G対応製品を中心に堅調だったほか、PCやゲーム機向けなども底堅かった。車載向けは、納品先の在庫積み増しが一服したことでやや減少したが、引き続き高水準を維持した。今後も、車載向けや各種製造装置向けなどを中心に好調な受注が見込まれるが、銅や特殊な樹脂などの原材料不足が生産面に影響する懸念がある。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • スマートフォン向けは、5G対応製品や中・低価格の製品需要が堅調なことから、部品受注も底堅い見込み。 • 車載向けは、半導体不足の状況が改善に向かうとみられ、部品受注は増加する見通し。各種製造装置向けの電子制御部品は、半導体需要の増加などから好調な見込み。



自動車部品	半導体などの部品の不足状況が改善し、受注は持ち直す
<p>● 現況</p> 	<p>半導体不足や東南アジアからの部品調達遅れがやや緩和したものの、部品不足により生産調整をした完成車メーカーもあり、受注は低調だった。今後は、半導体などの部品不足や調達遅れが改善し、受注は持ち直す見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 国内向けは、完成車の生産調整が徐々に解消に向かうことで、スポーツ用多目的車(SUV)などの人気車種を中心に受注は持ち直すとみられる。 • 北米や中国向けでは、部品不足の影響は続くものの、人気のSUVを中心に受注の回復が見込まれる。一方、東南アジア向けは、新型コロナで落ち込んだ新車需要の回復が鈍く、受注は低調な見通し。


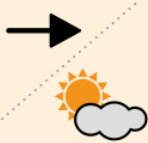
飲料製造	宴会需要の回復は難しく、業務用は低調な見込み
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用の需要は堅調だった。宿泊施設や飲食店向けの業務用の需要は、新型コロナの感染状況が一時的に落ち着いたことでやや持ち直したが、宴会需要は回復せず、飲料全体では低調だった。今後は、新型コロナの感染再拡大により業務用を中心に低調が続く見通し。また、容器・包装資材等の価格上昇が見込まれ、収益環境は厳しくなる見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 果汁飲料やその他の清涼飲料水は、家庭用の需要は底堅いものの、イベントや旅行の増加は見通しにくいことから、宿泊施設・飲食店向けなど業務用の需要は低調を見込む。 • アルコール飲料は、飲食店などの客数の戻りが弱いほか、宴会や会食の減少も予想され、需要は低調な見通し。



食料品製造	感染防止のための外出自粛から、業務用の需要は低調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用は調味料やスープ類などの内食需要が堅調だった。一方、宿泊施設や飲食店向けの業務用需要は、新型コロナが一時的に落ち着き、やや持ち直しの兆しもみられたものの低調だった。今後も新型コロナの感染再拡大により、全体として低調が続く見通し。また、包装資材などの価格上昇が見込まれ、収益環境は厳しくなる見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 味噌・加工肉は、家庭用の需要は無添加のみそ汁やハムなど健康志向の商品を中心に堅調を見込むが、新型コロナの影響が続き宿泊施設などの業務用の需要は低調な見通し。 ● コンビニ向け惣菜は、外出自粛の動きが強まる見込みからイベントや行楽での需要持ち直しは期待できず、低調な見通し。


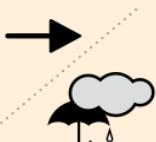
機械器具卸	一部機械での納期の長期化は続くが、機械需要は順調
<p>● 現況</p> 	<p>機械需要は、半導体関連が引き続き好調なほか自動車関連が底堅かったため、全体では順調だった。ただ、工作機械やFA機器などの一部機械では製品不足により納期の長期化が続いた。今後も幅広い業種で設備投資が見込まれ機械需要は順調な見通しだが、一部の機械では製品不足が続くことから、納期の長期化は解消されないとみられる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工作機械などの機械需要は、半導体製造装置向け、自動車向けなどを中心に幅広い業種で維持・更新や増産投資が見込まれており順調な見通し。制御機器や産業用ロボットなどのFA機器の需要は、省力化・自動化ニーズを背景に堅調に推移する見込み。 ● 切削用工具類などの消耗品受注は、主力の自動車関連を中心に底堅く推移する見通し。


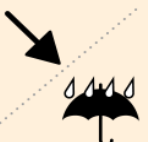
大型小売	感染防止に伴う内食需要から、食料品は堅調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>食料品は、生鮮食品などを中心に内食需要が続いており堅調だった。衣料品は、新型コロナの感染者が減少したことで、百貨店などで客数が増加し冬物が好調だった。今後は、感染再拡大による客足への影響が懸念されるものの、食料品を中心に堅調な推移が見込まれる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 百貨店は、衣料品や身の回り品は低調だった前年を上回る見込みだが、化粧品は、コロナ禍におけるマスク着用などの影響で、低調な見通し。 ● スーパーは、感染防止に伴う内食需要から食料品は堅調に推移する見込み。一方、原料価格上昇による価格転嫁は、消費者の低価格志向や競合店間との価格競争により進みづらく、収益環境は厳しい見通し。

自動車販売	納車遅れが次第に緩和するも、新車販売は低水準にとどまる
<p>● 現況</p> 	<p>消費者の需要は底堅く、受注は例年並みとなった。ただ、半導体不足などによる納車遅れの影響で、販売台数は前年を下回った。今後、納車遅れは次第に緩和していくとみられ、新車販売は持ち直す見込みであるが、新型コロナ前の水準には達しない見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新車販売は、納車遅れが緩和に向かうことで、人気のSUVや環境性能の高いハイブリッド自動車(HV)を中心に持ち直す見通し。 ● 中古車販売は、新車販売の持ち直しに伴い下取り車を確保することで上向くとみられる。 ● 輸入車販売は、高価格帯の車種を中心に需要は底堅いものの、納車遅れにより例年を下回る見通し。

公共工事	土木工事を中心に安定した工事量が続く
<p>● 現況</p> 	<p>三遠南信自動車道に関連した大型工事などにより、例年を上回る工事量となった。今後は、災害復旧工事が多かった前年の水準は下回るものの、国土強靱化計画に伴う土木工事やリニア中央新幹線関連の工事を中心に高水準の工事量が見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国では、三遠南信自動車道に関連した道路工事や、河川の補強等を中心とした防災・減災工事の継続により、工事量は順調な見通し。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県では、山間部における防災対策などの工事により、安定した工事量を見込む。 ● 市町村では、小規模な災害復旧工事や既存の公共施設などの維持管理工事などが見込まれ、工事量は例年並みの見通し。

民間工事	工事量は持ち直すものの、資材不足により工期は長期化する
<p>● 現況</p> 	<p>民間企業の建設投資は、製造業の工場などに加え、小売業の新規店舗などでも増加した。新築住宅は、持家を中心に着工戸数が前年を上回った。今後、民間工事全体の工事量は、設備投資や住宅需要の増加から持ち直していくとみられる。ただ、鉄骨や木材などが不足しており、全体の工期は長期化する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業の建設投資は、工場や店舗の新增設などで持ち直しが予想されるが、建築資材の納期が長期化しており、工期も長期化する見通し。 ● 住宅関連は、ウッドショックの影響による木材不足は当面続くものの、低価格帯の注文住宅を中心に需要は一定数みられ、着工戸数は例年並みの水準を見込む。

貨物	貨物量は例年水準に至らず、燃料価格等の上昇で収益は厳しい
<p>● 現況</p> 	<p>自動車部品が半導体不足の影響から弱い荷動きとなり、工業製品の貨物量は低調だった。食品や雑貨の貨物量は、業務用が低調だった。今後、自動車生産の持ち直しなどから工業製品の貨物量は改善に向かうとみられるが、例年の水準には至らない見通し。また、燃料に加え、ディーゼル車に不可欠な尿素水などの価格も上昇傾向にあり、収益は厳しい見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産用機械や電子部品の貨物量は、需要増加から回復に向かう見通し。自動車部品は、半導体不足の影響が緩和し荷動きの持ち直しが見込まれるが、低水準にとどまるとみられる。 ● 食品関連や雑貨・消耗品類の貨物量は、家庭用は引き続き安定した荷動きが見込まれるが、業務用は新型コロナの影響が懸念され、例年を下回り低調な荷動きとなる見通し。

観光	感染再拡大により観光客数は再び減少する見通し
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナ感染者数が低水準で推移し、県民限定割引や県外からのツアー旅行などにより観光客数は前年の水準を上回った。また、スキーを目的とした観光客数が早期の積雪により増加した。今後は、新型コロナの感染再拡大により国や自治体による行動制限や旅行自粛が予想され、観光客数は減少する見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 旅客は、感染再拡大を受け再び公共交通機関を避ける動きがみられ、引き続き低調な利用が続く見通し。 ● 宿泊施設は、感染再拡大の影響で旅行自粛や県の旅行喚起策の対象者縮小による予約キャンセルが出ており、低調を見込む。